

第8回団体交流会 グループワーク②チーム

記録 日野幸人

項目	適用
開催日時、場所	平成28年2月26日(金) 14:00~16:30 市役所南館2階 講堂
およびGWの時間	15:10~16:10
グループワーク 参加者 (姓のみ、敬称略)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動支援センター; 木下(ファシリテーター)、日野(書記) ・ まるちゃん会; 丸山 ・ 竜泉・里山クラブ; 伊月 ・ さやか観光会; 谷上 ・ NPO法人 ふれ愛さやま; 小原 ・ 狭山の副池自然づくりの会; 麻植、宮田 ・ 大阪狭山市婦人会; 橋本、寺岡、鶴田 ・ まち研:自治防災; 上谷
参加者の自己紹介 グループワークの テーマと意見	<p>■ 先ず参加者10人の自己紹介と団体活動内容の紹介を実施。 池田先生の講話内容についての感想、意見を求めるも特段の意見なし。</p> <p>あらかじめ設定されたワークシートに沿って意見交換を行った。主な意見は以下記載の通り。</p> <p>■ 団体としてのこれまでの活動で上手く行ったことや良かったことやその理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹藪を伐採し、竹炭をつくったり、もみ殻から練炭をつくる等リサイクル、土質改良をしている。 ・ミカン採集等、繁忙期のお手伝いを通じて、農家との共生を図り、感謝されている。 ・プルトップを集めて、車いすをもらった。もっと宣伝したらいいのではないか。 ・ゴーヤを育てる(緑のカーテン)のは水やりが一番大切である。 ・まきストーブを燃やすために農家からいらぬ木の枝等のごみをもらう人がいる。 ある人にとっては不要なごみでも、他の人にとっては有用な(必要な)ものもある点留意すべきである。 ・しっかり取り組んでいる人がいる地域は活動が活発である。(大野台5丁の餅つき大会) ・SNSやインターネットで呼びかけることで多くの人に関心を持ってもらうことができる。 ・天ぷら油(廃油)を回収し、石鹼を作り、産業まつりで配布し、PRをしている。 ・庭に生ごみを埋めている。マンションでも段ボールに腐葉土を入れて生ごみ処理は可能。 ・マンションで配布されるごみ袋が小さくなったことで、ごみの量が減少した(成功事例)。 ・グループ活動にはリーダーとリーダーシップが必要で、これがあるとグループは存続する。 グループ員の離散を防ぐには無理強ひせず、催事にも「顔だけでも出して!」とお願いするのがいい。 <p>■ 団体としてして苦労したことや、今抱えている課題、その克服策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢等で、精通者が退会し、木炭焼きが中断する事態になっている。 ・プルトップ集めには回収場所の指定、周知が効果的と思われる。 ・ペットボトルの回収をしているが、洗浄等の最終処理が大変である。 ・廃油の回収で協力者からは感謝されているが、なかなか大変でもう辞めたいと思っている。 ・フラワーポット(駅前)の世話をしているが、協力者も少なくボランティア活動の限界を感じている。 ・どんな活動をしても拡散していかない(広がらない)のもう辞めたい。 ・人はなんとか集めることが可能だとしても、大阪狭山市にはそれらの人が一堂に会する場所がない。 ・公園や道路の清掃をしているが、ごみ・タバコのポイ捨て禁止をして、守らない人には罰金を科すべきではないか。公共の場所(公園等)は禁煙にすべきと思う。 <p>■ 今後の交流会の在り方についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを絞りすぎると話すのが難しくなる。テーマは大きくとり、いろいろな問題を話し合うのがいい。 ・集まって話しするだけでは、具体的な活動につながらないのではないか。 ・協働と言いながらあまり活動につながらない。もっと一緒に活動する場が必要。